

忍岡小 だより



令和8年1月30日

台東区立 忍岡小学校
Shinobugaoka Elementary School

〒110-0008 東京都台東区池之端2丁目番22号
TEL: 03-3822-4661 FAX: 03-5685-3591
HP: <http://www.taitocity.net/shinobu-es/>

校長 松田 正昭

「つなぐ」 ～伝統のバトンを次の学年へ～

副校長 中村 歩

立春を間近に控え、校庭の木々にもかすかな春の兆しを感じられる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なる御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今月、本校では創立150周年を記念する「展覧会」を開催いたします。子供たちが一生懸命に作り上げた作品の一つひとつには、これまでの伝統を受け継ぎつつ、新しい未来を創造しようとする力強いエネルギーが込められています。150年という長い歴史の積み重ねを子供たちの豊かな感性とともに感じていただければ幸いです。

さて、この大きな節目を彩る行事とともに、いよいよ卒業の足音が近づいてまいりました。今月下旬には、在校生が感謝の気持ちを込めて準備する「6年生を送る会」、そして、3月上旬には6年生が地域の皆様や教職員に感謝を伝える「謝恩会」が予定されています。

6年生にとっては、どちらの行事もこの150周年という記念すべき年に最高学年として全校をリードしてきた誇りを感じる時間になることと思います。また、在校生にとって6年生を送る会は、その立派な背中を見送り、本校の伝統のバトンをしっかりと受け継ぐ大切な行事となります。

そんな頼もしい6年生とのお別れをさみしく思うのと同時に、卒業していく6年生が築き上げた忍岡小学校の伝統をしっかりと次の世代へつないでいく。そんな温かなバトンタッチの準備が、今、校内の至る所で進んでいます。

先に行われた忍岡こども園との会食や近隣保育園との交流会では、現1年生がお兄さん・お姉さんとして優しく学校を案内する姿が見られました。園児たちのキラキラした瞳に伝えるように、丁寧に接する児童の姿に、この一年での大きな成長を感じ、胸が熱くなる思いがしました。新しい仲間を迎える準備を進めることは、在校生にとっても「進級」への意識を高める大切な機会となっています。

このように、2月は年度の「出口」と新年度の「入口」がはっきりと見えてくる時期となります。「出口」と「入口」が見えてくることで、新しいステージへの期待が高まる子供がいる一方で、新しい環境の変化が近づいてくることに不安を感じる子供も少なくありません。「150周年」という大きな1ページを飾る今だからこそ、学校と家庭、地域とが手を取り合い、子供たちの心の安定を支えていくことが重要です。

ご家庭におかれましても、お子様の小さな変化を見逃さず、「大丈夫だよ。」「いつも見守っているよ。」という励ましのメッセージを送り続けていただければと思います。その安心感があってこそ、子供たちは自信をもって自分の力を発揮できるようになります。

今の学年で過ごす残り少ない日々を、一日一日大切に積み重ね、全員が笑顔で次の一步を踏み出せるよう、教職員一同、最後まで一丸となって取り組んでまいります。どうぞ温かく見守ってくださいますようお願いいたします。